

日本標準商品分類番号	872339
承認番号等	(46AM) 327
薬価収載	1972年2月
販売開始	1972年2月
再評価結果	1990年3月

# 重 散

**貯 法**：気密容器。開封後は湿気を避けて保存すること。

**使用期限**：容器に記載

**【禁忌】** (次の患者には投与しないこと)

ナトリウム摂取制限を必要とする患者 (高ナトリウム血症, 浮腫, 妊娠高血圧症候群等) [ナトリウム貯留増加により, 症状が増悪するおそれがある。]

**【併用禁忌】** (併用しないこと)

マンデル酸ヘキサミン (「相互作用」の項参照)

**【組成・性状】**

本剤 1 g 中に

日局	炭酸水素ナトリウム	0.70 g
日局	ジアスターゼ	0.23 g
日局	ゲンチアナ末	0.07 g

を含有する。

本剤は黄褐色の粉末で特有なにおいを有し, 苦味がある。

**【効能・効果】**

下記消化器症状の改善

食欲不振, 胃部不快感, 胃もたれ, 嘔気・嘔吐

**【用法・用量】**

通常, 成人 1 回 1.2~1.4 g を 1 日 3 回経口投与する。

なお, 年齢, 症状により適宜増減する。

**【使用上の注意】**

1. 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

- (1)浮腫のある患者 [症状が悪化するおそれがある]
- (2)心不全のある患者 [症状が悪化するおそれがある]
- (3)高血圧症の患者 [症状が悪化するおそれがある]

2. 相互作用

併用禁忌 (併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マンデル酸ヘキサミン ウロナミン腸溶錠	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが, 本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻 度 不 明
過 敏 症	発 疹 等 <sup>注)</sup>

注) これらの症状があらわれた場合は, 投与を中止すること。

**【高齢者への投与】**

一般に高齢者では生理機能が低下しているので, 減量するなど注意すること。

**【妊婦, 産婦, 授乳婦等への投与】**

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので, 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には, 治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

**【小児等への投与】**

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

※※【取扱い上の注意】

(1)生薬の産地及び仕入れの時期により色が異なることがあります, 薬効に変化はありません。

(2)保管方法

湿気を避けて保存して下さい。

(3)安定性試験

最終包装製品を用いた長期安定性試験の結果, 外観及び含量等は規格の範囲内であり, 重散は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。<sup>1)</sup>

**【包 装】**

500 g, 1 kg, 5 kg

※※【主要文献】

1) 株式会社三恵薬品 社内資料

**【文献請求先】**

株式会社 三恵薬品 品質管理室  
〒441-8033 愛知県豊橋市入船町21番地  
TEL<0532>45-6136

※ 製 造 販 売 元



株式会社 三 恵 薬 品

〒441-8033 愛知県豊橋市入船町21番地